

森のキャンパスから

創刊号

発行日 2013年6月15日

春学期はオリエンテーションキャンプが目白押し

この通信は、千刈キャンプとこの森を愛する皆さんとを結ぶ接点となることを願って生まれました。主に次のような方々へお届けしています。

- ご利用団体
- 関西学院の児童・生徒・学生や保護者
- 千刈キャンプのサポーター
- 関西学院の各部課
- 千刈キャンプのスタッフと名刺交換させていただいた方々

●●●●●●●●●● 主な目次:

新プログラム「セルフビルド」	2
千刈リーダーズクラブの活躍	2
ニューフェイスを紹介します	3
千刈キャンプの草木と遊ぶ	3
お知らせ	4

春から初夏にかけて、千刈キャンプは各種オリエンテーション合宿で満員御礼の状態が毎週末続きます。まず3月末の大学新入生オリエンテーションキャンプから始まり、新年度早々には、関西学院高等部・同中学部が次々に1年生のキャンプでやってきます。ちなみに、この3つの学校のオリエンテーションキャンプ期間は、千刈キャンプの人口密度が最も高くなる2週間でもあります。

授業が始まった後は、関西学院で学ぶ、ゼミ・学科・学部・学校など様々な単位や規模での1年生向け合宿をはじめ、クラブ・サークルなどの新人歓迎キャンプで週末は大賑わいです。

特に三田キャンパスは移動時間も短く、金曜日の授業後からBBQができるということもあり、総合政策学部・理工学部ともによく利用していただいています。

今後は、社会学部や教育学部など、少しずつ向上しつつある他のキャンパスから更なる利用者を開拓することが目標の一つです。加え

て、学外からの団体利用を誘致することにも取り組んでいきます。

その手段として、2ページで紹介する「セルフビルド」などの新規プログラムやキャンプ事業を開発し、新しい千刈キャンプの魅力を学内外に提案・発信できるように、日々試行や検討を重ねています。



写真:「セルフビルド」に取り組む社会学部生(新入生歓迎キャンプ)

運営体制が新しくなりました

4月より千刈キャンプの運営の一部(食堂・清掃・企画業務など)を業務委託化いたしました。移籍や担当替え等があるものの、従来の千刈キャンプを支えてこられた主な顔ぶれは大きく変化はしない一方で、企画業務・フロント対応などを共に担うスタッフ2人が新たに加わりました(3ページをご覧ください)。

企画系の戦力アップを期に、キャンプ場エリアはもちろん、千刈地区全体の魅力や教育施設としての可能性をより引き出すことに一丸となって挑戦してまいります。

一方で運営体制が変わったことにより、長年にわたり千刈キャンプをお使いいただいている

各団体にとっては「これまでとは勝手が違うなあ」とお感じになる場面も多々あるかと思えます。

今後もよりよい森にしていくために、ぜひ、忌憚のないご意見ご感想をお寄せ下さい。



写真:ダッジオープンをはじめ、ワイルドな焼き火料理に挑戦にしませんか?

新しいプログラム “セルフビルド” 開発中です

近年あらゆるメディアの中で「コミュニケーション能力の低下」「コミュニケーション教育の必要性」という言葉が大きくとりあげられ、その重要性が職場や教育現場だけでなく家庭の中でも意識されるようになりました*。

そこで、私たちは「キャンプであれば、他者と関わらざるを得ないようなリアルな状況設定が出来るのではないかと。そして、そこでは、相手に自分の考えを伝えたい・相手の考えを分かりたいという気持ちが芽生えるのでは」と考え、「セルフビルド」という名づけたプログラムを実施することにしました。

本プログラムは、「伝える技術」を机上で教えるのではありません。自然の中で、それぞれの立場にかかわらず、同じ課題の解決にチャレンジする一連のプログラムです。そこで起きる失敗や成功、不安、そして達成した時の気持ちの高揚などを体験し、「伝えること」の大切さを知り、また、伝

えることが苦手な人の気持ちを「汲みとる」ことの大切さなどを、「五感を使った体験学習」を通して経験するものです。

現在トライアル中ですが、5月1日には兵庫県篠山市内の中学校で作るフィールドホッケー部男女23人を対象に実施したプログラムが神戸新聞の取材を受け、翌2日朝刊に掲載(三田版「野外活動で団結力磨く」)されるなど、良い評価を頂いています。

ゼミやクラブなどのニーズに応じて企画から進行までお引き受けします。千刈キャンプでの学びの一環として是非ご利用下さい。

*企業の人事担当者が採用にあたって最も重視した項目(日本経団連2012):「コミュニケーション能力」82.6% (9年連続)

現在、実施している中から2つを以下に紹介します。

【パニックウォーク】

課題:数本のログに全員が乗ったまま、地面に足が触れることなく、ゴールまで歩ききる。

参加者のコメント:「みんなで声を合わせてしないとできないことでした。最後まで声をかけ続けていく大切さなどが学べました」「みんなの心が一つになって速く進めたので、この経験をクラブに生かしてがんばりたいです」



【スパイダーウェブ】

課題:クモの巣状に張られたロープのすき間を触れることなく通り抜ける。

参加者のコメント:「話したことの無い人と無意識に話することが出来た。積極性や協調性が今日一日で一気に強まった気がします。何よりみんなと挑戦できて良かったです」「めっちゃめっちゃいい経験になりました。自分一人の考えをみんなにシェアすることの難しさ、他の人の考えを聞くことの大切さを学べました。これから生きていくうえで役立つことが多かったのも、ゼミ、そしてボランティア活動に生かしていきたいと思います」



千刈リーダーズクラブの活躍

千刈キャンプの最前線にたつリーダーたちは、この森の「顔」とも言えます。リーダーは関西学院大学宗教総部千刈リーダーズクラブに所属する現役大学生です。4月になり、上級生たちの積極的な勧誘が実を結び、待望の新人リーダーが現在8人入部、4学年あわせて22人に。

6月より始まったリーダー養成キャンプ(写真)では、AED講習会や初期消火訓練、野営トレーニングなどを体験します。その後、週末ごとに千刈キャンプに入り、先輩リーダーについて様々な場面でのお仕事を覚えるOJTが始まります。夏休みには皆さんのお手伝いができる1人前のリーダーとなれるよう、新人リーダーの頑張りが期待されます。頑張れ、新人リーダー!



ニューフェイスを紹介します。どうぞよろしくお祈いします

鎌田菜摘(かまた なつみ)さん

こんにちは。鎌田菜摘です。この4月から関西学院千刈キャンプでスタッフとして働いています。

千刈キャンプは「森のキャンパス」と親まれ、四季折々の自然や、たくさんの動植物に囲まれ、楽しくのびのびと仕事をさせて頂いております。

私は、これまでに野外活動等のリーダー経験やボランティア経験が少なく知識面では足を引っ張りがちで、事務仕事もまだまだ勉強中です。覚えることや仕事が次々と溢れ出てきており、まるで誰かが時計を早めているように感じるほど、毎日がもの凄く早いスピードで進んでおります。そんなめ

まぐるしい日々には負けないように、「森のキャンパス」に癒されながら頑張っていきます。

これからキャンパーの皆様や千刈キャンプで活動をされる皆様に少しでも楽しく、そして安全に活動をして頂けるように、日々成長していきたいと思ひます。そして、持ち前の元氣と笑顔で、皆様のお越しを心よりお待ちしております。どうぞ自然溢れる「森のキャンパス」に足をお運び下さいませ。



森本崇資(もりもと たかし)さん



はじめまして。森本崇資です。この4月1日から千刈キャンプの一員になりました。よろしくお祈いします。歴史のあるキャンプ場での仕事をはじめ、その重みを感じています。

これまでカナダのキャンプ場での経験を礎に、帰国後カヤックのガイド、スキースクール、そして瀬戸内海での無人島へのシーカヤックキャンプと様々なフィールドでお手伝いさせて頂きながら、何万人の人と時を過ごしてきましたが、それらの経験を活かすのはもちろん、また新しいモノの見方で千刈キャンプ・三田市という素晴らしいフィールドを

活用していきたい、と考えています。

最初に取り組むプログラムは「セルフビルド」です。

- 自分の価値や可能性をしっかりと評価する。
- 「セルフ」から「チームビルディング」へ活かしていく。
- 関西学院に所属する一員として、そしてその中で自分の所属するゼミ・部活動・サークルなどの一員として、「ただあつまった『グループ』」ではなく、「意志をもった『チーム』」としてどう存在していくか。

などといった観点を、自然の中での様々なプログラムを通して、お伝えしていくことを考えています。興味をもたれた方は、ぜひ、千刈キャンプまでお問い合わせください。よろしくお祈いします。

千刈キャンプの草木と遊ぶ【イタドリ】

よきよきと竹の子のように芽を伸ばすイタドリの姿は元氣を与えてくれますし、なにより食べられる草として子どもたちに人気がありました。あの酸っぱさは春の味として私には残っています。

子どもたちに是非とも味わってもらいたいものの一つですが、このイタドリは子どもたちに様々な遊びを提供してくれましたし、これだけ多くの遊びが生み出された植物は他にはないのではと思われるぐらいです。その理由の一つに、植物の特質があります。まず、竹のように節があり空洞になっていること。芽吹きの際の柔らかい茎は簡単に手で折れ細工が簡単にできることです。成長にともない茎は堅くなりますが、それに合わせて竹玩具と同じようなものが作れます。

牧野新日本植物図鑑では、「[日本名]痛み取りの効果があるからというがはたしてほんとうか分からない」とある。[漢名]虎杖。黄蘗子。大型の多年生草木は一年で地上部は枯れてしまいます。この枯れた茎は堅くなり昔から杖に使われていました。今でも地方の山寺に行くと、その登

文と絵: 松井鴻さん(草木遊び塾主宰)

り口にこのイタドリの杖が立て掛けてあるのを目にします。実際に使ってみると軽くて丈夫なもので、漢名の「虎杖」に納得。キャンプ活動にいろいろと使えると思ひます。



夏休み中の空室状況

現在、ごくわずかですが宿泊利用できる期間が残っています。人数(男女別)・プログラム・食事計画等の条件によって利用していただけない場合もありますので、千刈キャンプ事務室まで電話・メール等でお問い合わせ下さい。

2013年度夏期主催事業 “ご参加をお待ちしています”

キャンプ名 (参加費)	対象	期間	内容
せんがりサマーキャンプ (10,000円)	小学3年生～6年生 30人	8月14日～16日	テント泊・野外自炊のベーシックなキャンプ。千刈リーダーが生活をともにします。
フロンティアキャンプ (24,000円)	中学生 15人	8月16日～18日	森を切りひらく、火をおこす、焚き火を囲む、そして森のサウナにも入れるかも。
KGオールスターキャンプ (詳細は千刈キャンプまで)	高校生 約60人	8月16日～18日	関西学院に連なる高校生が自ら企画し運営する学びと交流のキャンプです。

上記は予定です。詳しくは事務室までお問い合わせ下さい。

Camp to Campus (C2C)プログラム ～千刈キャンプをあなたのキャンパスにお届けします～

本紙でご紹介したような「セルフビルド」をはじめ、自然体験やチームビルディング、グループワークの様々なアクティビティをギュッと凝縮した形でキャンパスへお届けします。キャンパス内での自然体験プログラムや、教室内や広場を使ったチームビルディングプログラムなど、千刈プログラムが得意とする様々な活動をアレンジして実施します。

千刈キャンプで出来ることを感じるだけでなく、緑豊かなキャンパスをより身近に感じてみたいときや、ゼミやサークルなどのメンバー同士の関係作りやリーダーシップ研修などとしても活用可能です。利用をご希望される場合は、まず千刈キャンプ事務室まで電話やメール等でお問い合わせ下さい。



ここも関学 千刈キャンプは森のキャンパスです

私たちが目指すのは「森のキャンパス」です。約8万㎡の里山の自然と約150人までの宿泊研修機能に加え、指導スタッフが常駐するなど、大学が保有する施設としては全国でもユニークな資源を持っているのが千刈キャンプの特色のひとつです。自然の中で時間に縛られない生活空間を共有することで、研究はもちろん、学生とのコミュニケーションも深まるでしょう。また、環境やリーダーシップなど実践的な教育活動の展開が可能です。学内だけでなく学外にも開かれた場として、教会・幼稚園・学校・生涯学習など一般の団体グループの方々にもご利用いただけます。皆様のご利用をお待ちしております。

関西学院千刈キャンプ 〒669-1507 兵庫県三田市香下1817-1

電話 079(563)5233 FAX 079(563)5235

Email: campsengari@kwansei.ac.jp

website http://www.kwansei.ac.jp/f_sengari/index.html

facebook <http://www.facebook.com/CampSengari>

つぶやき 現センター棟開設
以来の大きな転換期を迎え、辛口
のご意見も沢山頂いています。多く
の人に愛されている施設を預かる
緊張感と感謝を忘れず、前に進み
ます。(益)